宮城県高等学校野球連盟

第78回秋季東北地区高等学校野球宮城県大会

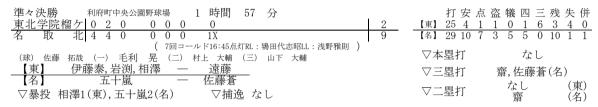
□大会第5月目 9月18日(木)



【評】

仙台育英学園、本塁打を含む10安打7得点の7回コールド勝ちで準決勝進出。

仙台育英は、初回東北学院先発の長沼から2番田山が右越え2点本塁打を放ちまず先制。2回以降は無得点が続いたが、7回に東北学院2番手小河から3連打で3点を追加し、6点差と突き放した。さらに内野安打や四球で満塁とし、2番砂が左前に7点目の適時打を放ち試合を決めた。東北学院は勝てば初の準決勝進出であったが、仙台育英先発福井の前に四番阿部の1安打のみに抑えられ、得点を奪うことができなかった。仙台育英は2大会連続49回目の準決勝進出となった。



【評】

名取北が序盤の集中打で東北学院榴ケ岡を突き放して快勝、初のベスト4進出を果たした。初回から名取北の打線が繋がり、2本の3塁打を含む4安打に相手の失策も絡んで4点を先制。2回にも3安打2四球に相手の失策も絡んで更に4点を追加。その後は、投手陣が踏ん張って中盤まで膠着状態となったが、6点差で迎えた7回に名取北が四球を足掛かりに、犠打と2本の内野安打でしぶとく1点をもぎ取って試合を決めた。東北学院榴ケ岡は、2回に3安打を集めて2点を返したものの、それ以外は3回の1安打のみで4回以降は無安打に抑えられ、無念のコールド負けとなった。